

○ 自然環境を中核とした考察の仕方を基にして、九州地方の地域的特色をとらえさせる学習の展開例

地理的分野の改訂の要点として、動態地誌的な学習による国土認識の充実がある。そのための具体的取組として、日本の諸地域について、日本を幾つかの地域に区分した上で、以下の1～7で示す考察の仕方を基にして、それを他の事象と有機的に関連付けてそれぞれの地域的特色をとらえさせる学習を行うこととしている。

(考察の仕方)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 自然環境を中核とした考察 | 2 歴史的背景を中核とした考察 |
| 3 産業を中核とした考察 | 4 環境問題や環境保全を中核とした考察 |
| 5 人口や都市・村落を中核とした考察 | 6 生活・文化を中核とした考察 |
| 7 他地域との結び付きを中核とした考察 | |

※ 1から7の考察の仕方については、学習する地域ごとに1つ選択し、日本の諸地域の学習全体を通してすべて取り扱う。

そこで、日本の諸地域の学習について、九州地方を例に具体的な展開について、述べる。

【 九州地方（自然環境を中核とした考察を基にした学習の展開例） 】

九州地方は自然環境を中核とした考察を基にした学習を展開したい。その主な理由として、次のような点があげられる。

- ① 九州地方は、北部の筑紫平野、中央部の九州山地、南部のシラス台地などといった特色ある地形がみられる。また、そうした自然環境と関連した特色ある産業が見られる（北部の筑紫平野では稲作、南部のシラス台地では畑作、南西諸島ではさとうきび栽培や花卉栽培が盛んであるなど）。
- ② 九州地方は、本土は、太平洋側の気候、沖縄県を含む南西諸島では、南西諸島の気候といった亜熱帯性の気候がみられ、人々の生活にも大きな影響を与えている（梅雨時に降水量が多かったり、台風がよく襲来したりなどの自然災害が多く、生活の中での防災意識が高いなど）。
- ③ 九州地方は、火山が多い（湧出する温泉を活かした観光業が盛んであるなど）。

このような点を踏まえて、九州地方では、自然環境を中核とした考察を基にした学習を行い、九州地方の地域的特色をとらえたい。

(課題設定の段階)

自然環境を中核とした考察を基にした学習を展開するに当たって、まず、地図帳や雨温図、統計資料などを活用して日本全体の視野から九州地方の地域的特色に気付かせたい。



具体的には例えば、

- ・九州地方は、桜島や世界有数のカルデラをもつ阿蘇山といった火山が多く分布し、シラスと呼ばれる火山灰が厚く堆積している地域がみられる。これらの地域では、自然環境を生かしたさつまいもや茶などの畑作の他、畜産が盛んである。また、北部の筑紫平野では米作り、南西諸島ではさとうきび栽培や花卉栽培といった農業が盛んである。
- ・九州地方の大部分は太平洋側の気候で、沖縄県を含む南西諸島では南西諸島の気候といった亜熱帯性の気候がみられる。また、梅雨時に降水量が多く、台風の影響や火山活動などによる自然災害が多い。
- ・九州地方は、きれいな水や空気を必要とするICやLSI工場が進出し、シリコンアイランドと言われている。また、自動車工場も進出してきている。このような九州地方の特色を基に例えば、

「火山灰の堆積したシラス台地を開発して茶の栽培や畜産を発達させている。」、「温暖な気候を生かし花卉栽培を営む農業の工夫がある。」、「台風に備えた生活の工夫をしている。」などのように九州地方の自然環境の特色を人々の生活や産業などに関する地理的事象と関連付けて追究し、考察させる。

このような点を踏まえ、単元全体を見通した学習課題を例えば、次のように設定する。

単元全体を見通した学習課題

「九州地方にはどのような自然環境の特色があるか、また、人々の生活や産業とどのように結びついているか。」

(課題追究の段階)

前述の課題を解決するために、例えば、「九州地方の自然環境は地域によってどのような違いがあるか調べよう。」、「九州地方の農業は北部と南部でどのような違いがあるか、また、なぜ違うのか調べよう。」、などといった個人で調べてみたいテーマを設定し、追究する。

これらの個人テーマの追究を通して、「九州地方にはどのような自然環境の特色があるか、また、それは人々の生活や産業とどのように結びついているか。」という単元全体を見通した学習課題の解決を図っていく。

また、このような九州地方の学習を展開する際、鹿児島県についても取り扱いたい。そこで、例えば、「鹿児島県本土に広がるシラス台地と畑作を中心とした

農業・畜産の関係」,「桜島,霧島,開聞岳といった火山と温泉や世界自然遺産屋久島を活かした観光産業」,「火山活動や地震,台風や梅雨時の大雨などに備えた防災対策」などの視点を,個人テーマを追究する際に九州地方の他の地域の特色とも関連付けて取り扱い,鹿児島県の地域的特色についての理解も深めてさせていきたい。

(課題解決の段階)

【言語活動の充実→追究の過程や結果を生徒に表現させる】

- ・ 学習のまとめとして,九州地方の自然環境に関する地理的事象を中核として,それを人々の生活や産業などと関連付けて追究した過程や考察の結果を,分布図や地図などを活用して表現させたり,事象間の関連を互いに説明させたりするなどの言語活動を位置付けたりする工夫が考えられる。

次にこのような視点を踏まえ,単元全体を見通した学習課題の解決を図るための単元の指導計画と本時の展開の参考例を示す。

(単元の指導計画例)

単元名 「九州地方」

時間	学 習 内 容
1 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・ 九州地方を概観する。 ・ 単元全体を見通した学習課題を設定する。 例 「九州地方にはどのような自然環境の特色があるか,また,それは人々の生活や産業とどのように結びついているか。」 ・ 個人で調べてみたいテーマ(サブテーマ)を決める。 例 「九州地方の自然環境は地域によってどのような違いがあるのだろうか。」 <ul style="list-style-type: none"> 「九州地方の農業は北部と南部ではどのような違いがあるのだろうか。」 「九州地方の工業はどのように変化してきたのだろうか。」 「九州地方では自然環境をどのように観光に生かしているのだろうか。」 「九州地方は自然災害に対してどのような対策をとってきたのだろうか。」
2	○ 関心に応じて個人テーマ(サブテーマ)をそれぞれ追究する。
1	○ 個人テーマ(サブテーマ)について追究したことをまとめる。
2	○ まとめたことを発表し合い,気付いたことについてまとめる。
1	○ 単元全体を見通した学習課題の解決を図る。

(本時の展開例～1/7)

過程	主な学習活動	時間・形態	指導上の留意点 ◎～言語活動の取組場面	資料
導入	1 九州地方の既習事項について発表する。 2 日本全体から見た九州地方の地域的特色について、地図帳や統計資料などを基に気付いたことについて発表する。 3 単元の学習課題を設定する。	10分 一斉	・九州地方について小学校で学習した内容等を発表させる。 ・地図帳の雨温図や統計資料などを基に九州地方の気候やさかんな産業などについて理解させるとともに自然環境が人々の生活や産業と強く結びついていることに気付かせる。	・日本国勢図会の統計資料等 ・地図帳の統計資料や雨温図
	九州地方にはどのような自然環境の特色があるか。また、それは人々の生活や産業とどのように結びついているか。			
展開	4 単元の学習の進め方について確認する。	5分 一斉	・単元の学習計画を提示する(単元の指導計画の例を参照)。 ・九州地方の地域的特色を自然環境を中心に追究することや、それが人々の生活や産業とどのように結びついているかという視点で学習を進めていくことを理解させる。	・ワークシート
	5 九州地方の地域的特色について自然環境を中心に調べてみたい事項をワークシートに記入し、発表する。	10分 個 一斉	・ワークシートに記入した事項を基に、最も調べたい内容を1つ選択させる。 ・机間指導を行い、数人の生徒に発表させる。	
	6 単元の学習課題の解決を図るために、生徒一人一人が調べてみたい学習課題(個人テーマ)を設定する。	15分 個	・単元の学習課題を解決を図るための個人テーマの設定であることを確認させる。 ・調べたい事項を次の①～⑤の視点で類型化し、個人で調べてみたい課題を設定させる。	

展 開			①九州地方の自然の特色 ②九州地方の農業と人々の生活 ③九州地方の工業と人々の生活 ④九州地方の観光と人々の生活 ⑤九州地方の災害と人々の生活		
	① 九州地方の自然環境は地域によってどのような違いがあるのだろうか。 ② 九州地方の農業は北部と南部ではどのような違いがあるのだろうか。 ③ 九州地方の工業はどのように変化してきたのだろうか。 ④ 九州地方では自然環境をどのように観光に生かしているのだろうか。 ⑤ 九州地方は自然災害に対してどのような対策をとってきたのだろうか。		7分 個	・ワークシートに次のことをまとめさせる。 ①自己の学習課題 ②学習課題設定の動機（理由）	・ワークシート
終 末	7	本時のまとめを行うとともに、次時の予告（個人の学習課題「個人テーマ」の追究）を聞く。	3分 一斉	・個人の学習課題（個人テーマ）の追究に必要な資料の収集等、次時の学習の進め方について説明する。	・ワークシート
「鹿児島市立吉野東中学校 酒井義仁教諭の展開例を基に作成（平成21年度）」					